



第31号

平成25年11月15日発行

The Taki Town
Council Newsletter



高校生国際料理コンクール
意気が合った相可高チーム

(10月27日相可高校／多気町)

▲金メダル獲得！

▲ フランス料理に挑戦中！

CONTENTS

- まちづくりにどう活かされた私たちの税金 …… P2～3
平成24年度一般会計など決算を審査、承認
- 平成24年度 決算審査 監査委員報告 …… P4
- 平成25年度 補正予算を審議 …… P5
- 予算決算常任委員会報告 …… P5
- 各常任委員会で審議 …… P6
教育民生常任委員会・総務産業土木常任委員会
- 「町政のここを問う」／一般質問 …… P7～14
- 議会のうごき …… P14
- 故寺村龍介議員の追悼 …… P15
- たきの風 …… P15
- インタビュー「多気のみちかどから」 …… P16
伊勢一刀彫伝承者 奥田眞一さん

私たちの税金の行方！

9月
定例会

平成24年度一般会計など決算を審査、承認

多気町議会第3回 9月定例会
平成25年 9月17日～26日

基金（預金）

40億4,321万円

（前年比：－3億3,674万円）

*一般会計・特別会計の合計

町債（借金）

137億3,129万円

（前年比：＋7,662万円）

*一般会計・特別会計・企業会計の合計

一般会計

歳入（財 源）

81億 618万円

歳出（使いみち）

72億1,252万円

翌年度繰越金

8億9,366万円

主な歳入 財 源

千円以下切りすて

町 税

町民税や固定資産税等の税金

25億1,104万円

使用料等

事業に対する地元負担金や施設の使用料など

1億8,072万円

繰 入 金

基金（町の貯金）の取り崩しや他会計から繰り入れるお金

6億5,653万円

地方交付税

行政運営に国から交付されるお金

24億4,336万円

国・県支出金

国県が負担するお金

4億3,990万円

町 債（町の借金）

主に建設事業に充てるために借り入れる借金

6億283万円

まちづくりにどう活かされた

主な歳出 使いみち

千円以下切り捨て

会議費

8,217万円

- 議会だより印刷製本費
112万円
- 議員報酬費
4,311万円
- など

総務費

15億1,691万円

- 自治会関係経費
4,225万円
- ケーブルテレビ事業費
1,338万円
- クリスタルタウン事業費
4億329万円
- 防災行政無線経費
6,900万円
- 災害対策経費
1,630万円
- など

民生費

19億465万円

- 障害者福祉費
1億8,129万円
- 高齢者福祉費
5,668万円
- 福祉医療費
1億221万円
- 保育園費
4億1,476万円
- 児童館費
4,882万円
- 介護保険、国民健康保険、
後期高齢者医療保険特
別会計へ繰出
5億2,539万円
- など

衛生費

5億6,812万円

- 予防接種(乳幼児・インフ
ルエンザ・子宮頸ガン・肺
炎・ロタウイルス等)
3,445万円
- 健康診断、がん検診、健康
増進事業等
2,578万円
- ごみ処理費(美化セン
ター・RDF)
2億3,930万円
- 住宅太陽光発電システム
等補助金
1,012万円
- 火葬場使用助成金
706万円
- など

農林水産業費

3億4,047万円

- 集落営農推進事業
補助金
1,257万円
- 土地改良費
6,866万円
- 県営かんがい排水事業
(宮川1工区)負担金
4,302万円
- 森林環境創造事業
委託料
1,500万円
- 鳥獣被害対策事業費
2,420万円
- など

商工費

7,463万円

- 商工団体育成補助金
900万円
- ふるさと村、勢山荘
修繕費
950万円
- 情報発信番組作成
委託料
2,068万円
- 観光施設指定管理料
530万円
- 自転車振興事業費
547万円
- など

土木費

8億3,677万円

- 地籍調査費
3,450万円
- 天啓の家管理経費
482万円
- 道路維持経費
8,463万円
- 道路新設改良経費
9,260万円
- 公園管理費
1,203万円
- など

消防費

3億6,483万円

- 松阪地区広域消防組合
負担金
3億2,148万円
- 消防団員報酬・手当等
2,446万円
- など

教育費

7億9,379万円

- 小学校費
1億8,332万円
- 中学校費(多気・勢和)
1億2,195万円
(多気中エレベーター設置)
- 公民館費
1,871万円
- 図書館費
4,953万円
- 勢和学校給食センター
改修事業費
1億81万円
- など

災害復旧費

619万円

- 農林災害復旧費
619万円

公債費

7億2,394万円

- 合併特例債償還金
1億7,837万円
- 臨時財政対策債償還金
1億4,092万円
- 利子
1億36万円
- など

※各数値は、千円以下を切り捨て
たことにより、合計が一致し
ません。

平成24年度 特別会計・企業会計決算

会 計 名	歳入(収入)	歳出(支出)
国民健康保険特別会計	17億9,278万5千円	16億5,392万8千円
後期高齢者医療保険特別会計	3億1,797万6千円	3億1,797万5千円
介護保険特別会計	15億3,223万4千円	14億7,736万8千円
住宅新築資金等貸付特別会計	1,469万7千円	1,469万7千円
農業集落排水事業特別会計	2億 380万6千円	1億9,975万4千円
戸別合併処理浄化槽整備事業特別会計	1億3,166万7千円	1億2,904万8千円
郡指導主事共同設置事業特別会計	1,165万0千円	1,115万2千円
水道事業会計	5億9,980万1千円	6億4,928万0千円
工業用水道事業会計	4,645万9千円	3,721万5千円
下水道事業会計	5億1,294万9千円	5億9,911万7千円

※上下水道事業会計において不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

監査委員報告

代表監査委員 岡井 貞幸
議選監査委員 中森 一秀

平成24年度決算に基づく 審査意見書(要約)

【健全化判断比率にかかる意見】

▽審査の概要

この審査は、地方公共団体の財政健全化法により、町長から提出された「健全化判断比率及びその算定の基礎」となる事項を記した書類が適正に作成されているかどうかを主眼に実施した。

▽審査の結果

〔1〕総合意見

審査に付された健全化判断比率及びその算定の基礎となる事実を記載した書類は、**いずれも適正に作成されている**ものと認められる。

〔2〕個別意見

①実質赤字比率

②連結実質赤字比率

結果

右①②とも「―」%であり、早期健全化基準(以下「基準」)に比べその比率が赤字でない場合は「―」と表記する。従って多気町の場合は、**極めて良好な状態にある。**

③実質公債費比率

結果

右③は、「8.6」%であり、基準

「25.0」%に比べると多気町は**良好な状態にある。**

④将来負担比率

結果

右④は、「26.0」%であり、基準「350.0」%に比較すると、多気町は、**極めて良好な状態にある。**

〔3〕是正改善を要する事項

結果

特に指摘すべき事項は無い。

【資金不足比率にかかる意見】

▽審査の概要

この審査は、地方公共団体の財政健全化法により、町長から提出された「資金不足比率及びその算定の基礎」となる事項を記載した書類が適正に作成されているかを主眼に実施した。

▽審査の結果

〔1〕総合意見

審査に付された資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、**いずれも適正に作成されている**ものと認められる。

〔2〕個別意見

水道事業他3企業会計、農業集落排水事業他2特別会計はそれぞれ「―」%表記であり、経営健全化比率200%に比較すると、多気町は**極めて良好な状態にある。**

〔3〕是正改善に要する事項

結果

特に指摘すべき事項はない

こ ん な 事 を 決 め ま し た

平成25年度 一般会計・補正予算関係(抜粋)

【第3回定例会 9月17日～26日開催】

今回追加補正した額は 3億5,777万円

その主な用途は

- ※町民バス運行経費 213万円
- ※道路新設改良費 5,300万円
- ※道路舗装修繕工事 1,000万円
- ※理科教育備品購入費 263万円
- ※前年度剰余金の基金積立 2億7,117万円 など

補正後の予算総額は 76億7,879万円

平成25年度 特別会計・補正予算関係(抜粋)

【第3回定例会 9月17日～26日開催】

◆国民健康保険特別会計

今回追加補正した額は 1億115万円
補正後の予算総額は 18億103万円

◆介護保険特別会計

今回追加補正した額は 7,392万円
補正後の予算総額は 16億2,529万円

◆農業集落排水事業特別会計

今回追加補正した額は 355万円
補正後の予算総額は 2億521万円

◆戸別合併処理浄化槽整備事業特別会計

今回追加補正した額は 211万円
補正後の予算総額は 1億6,866万円

予算決算常任委員会報告

吉田 勝委員長 (委員13名)

第3回定例会において、本委員会に付託された

議案19件を部署別に5日間精力的に審査

審議案件

決算の審査

平成24年度一般会計決算の認定、以下特別会計および事業会計決算認定全12会計の審査を行った。

(一般会計の審査において、委員から今後の事務の執行、予算編成に反映されたいと出された主な意見)

- 環境衛生費の「不法投棄回収」経費のさらなる執行に努めること。
- 同じく、ごみ処理施設費の「ゴミの減量対策」として、16%を占める生ゴミの水切り、堆肥化等の啓発に努めること。
- 農業費において、さらなる「耕作放棄地対策」を進めること。
- 土地開発基金において、一部に土地保有があるが、早期に本来の「流動資産への振替え措置」を行うべきである。

採決関係

決算案件全てにおいて全員賛成で認定

補正予算の審議

平成25年度一般会計補正予算以下特別会計、事業会計補正予算7件審議

審査経過

一般会計歳入では、3億5,777万円の追加補正である。前年度の繰越金、地方交付税の増による措置が主であり、歳出では、特別な財源見込みによる道路橋梁費の6,300万円の増が主なもの。

全会計において、4月人事異動に伴う人件費の振替、前年度繰越金の措置が主なもの。

採決関係

補正予算案件全てにおいて、全員賛成で原案可決。

教育民生常任委員会報告

小林 正夫 委員長（委員6名）

第3回定例会において、本委員会に付託された議案1件および請願4件について審議。結果、請願3件は採択したが、請願1件は不採択とした。審議経過は次のとおり。

議案1件

「延滞金の利率の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定」

結果 全員賛成で可決

請願4件

「義務教育費国庫負担金制度の存続と更なる充実を求める」

「教職員定数改善計画の着実な実施と教育予算拡充を求める」

「保護者負担の軽減と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める」

以上3件については、請願の内容等主旨理解できるとして

結果 全員賛成で採択

処置は

平成25年9月26日付けで意見書を左記大臣あてに提出。

文部科学大臣 下村 博文

「防災対策の見直しをはじめとした総合的な学校安全対策の充実を求める」

この請願については、防災対策の見直しは当然であるが、請願する総合的な学校安全対策の内容に具体性を欠き内容を明確にすべきとの意見により、

結果 賛成少数で不採択

総務産業土木常任委員会

前川 勝 委員長（委員6名）

第3回定例会において本委員会に付託された

議案2件、陳情1件の審査を行い可決・採択

陳情

「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択」に関する陳情

Q 入札に町内企業が入っていないが、参加しにくい条件があるのではないか。

A 町内企業も入札可能である。今回たまたま業者の都合で入札が無かった。

結果 全員賛成で可決

町道の認定

相可・東池上・笠木の3地区の町道認定

Q 相可で多気中下でミ三団地の造成に伴う新設道だが、通学に危険は無いのか。

A 朝の時間帯には一方通行が決められていて、支障が無い。

結果 全員賛成で可決

結果 全員賛成で採択

処置は

平成25年9月26日付けで意見書を左記大臣あてに提出。

内閣総理大臣 安倍 晋三
財務大臣 麻生 太郎
総務大臣 新藤 義孝

町政のこころを問う！ 第3回定例会 8人が一般質問

相可保育園の遊泳プール 給水手段の改善を

答 指摘のとおり改善する

中森 一秀 議員

問

相可保育園は平成19年7月兄国区の多大な協力のもとに、多気すみれ保育園を統合し新築開園した。

その際に園児の体育環境を充実するため、遊泳用FRPプールを併設したが、そのプールへの「給水手段」に大きな問題があった。

管径の太い排水バルブは付いているが、給水用は一般的な水道延長用ビニールホースが2口の蛇口から繋げてあるだけで、プール水量13〜15トンを短時間に満たすのは無理であり、約2時間かかるとの説明を園側から聞いたが、これは設計のミスではないのか。

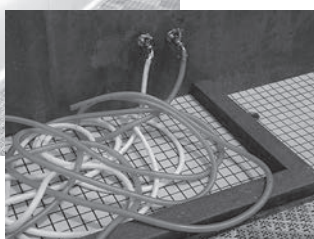
答

(町民福祉課副参事)

「指摘の状況とおりであるので次年度に予算要求し改善していく。」



楽しいな! プールの遊泳



時間がかかる給水ホース

問

入園希望園児に適切な対応をすべきと思うがどうか。また、今後の保育行政をどう考えるのか。

答

(町民福祉課副参事)

現在の相可保育園の入所状況は、定員180人に対して211人と定員を超過している。本町では、ゼロ歳児は受け入れていないため、1歳未満のいわゆる「年齢到達待ち児童」5人がいることから、本年度末には216人となり、超過密保育園の状態となる。厚生労働省の通知によれば、3年連続して定員の120%を超える場合、定員の見直しを行なうべき」とあり、今

相可保育園に入園を希望する 園児のために適切な対応を

答 入園希望が増え続ける事態の時は条例を改正し対処する。

後、相可保育園の入園希望者が増え続ける事態であれば条例を改正するなど対処を考える。

保育行政は、5年のサイクルで支援計画を建てている。平成26年が最終の見直しの年となるが、町全体の保育園の定数を600人としている中では、まだ目標事業量の91%であるので、平成27年度以降の支援計画については「子ども・子育て支援計画」で、町民のニーズ調査を行なっていく。

「その他の質問」

◎保育園給食センターの緊急時対応について

産業環境課の取り組み目標と 町内の農林業に対する考え方は

答 ■ 新たな担い手となる後継農家の育成支援

(農林担当)

■ バイオマス産業の誘致実現と観光振興、
特産品の開発

(商工観光担当)

■ 多気町らしい健康で元気で豊かな
まちづくり

(まちの宝創造担当)

小林 正夫 議員

問

産業環境課には3人の部門担当課長を配置している。それぞれに事業への取り組み目標・将来像を尋ねたい。また、農林業部門担当には、地域の特産的農産物をどのように守っていくのか、合わせて伺いたい。

答

(産業環境課長)

多気町の農家は1637戸あるが、農業を取り巻く環境は非常に厳しく、耕作者の高齢化や耕作放棄地の増加、獣害対

策など多くの問題を抱えている。このような状況の中で、生産コストの見直しや販売戦略を検討する必要がある。

今後は生産基盤の整備や農地の集積を促進して新たな後継者・担い手確保への支援が重点課題である。

答

(商工環境担当参事)

現在、クリスタルタウン工業ゾーンへの「木質バイオマス発電事業関連の企業誘致を進め

ている。

観光については、町としていくつかの事業に取り組んでいるが、特に丹生の「まめや」や「ふれあいの館」は活況である。しかし波多瀬の元丈の館は民間企業を管理者に指定し活動しているものの現時点では十分な成果は出ていない。

今、改善のため分析検討中である。

観光振興や特産品開発には商



JA選果風景

答

(まちの宝創造特命監)

現在、町長の進める「えまちづくり多気町」を受け、まちの宝(地域資源)発掘に取り組んでいる。その一つは「自転車」の町づくりプロジェクト、もう一つは「食」によるまちづくりプロジェクトであり、大きなテーマは「健康」である。多気町の自然を生かしてエコで健康的な自転車でいろいろなスポーツイベントを計画している。

工会、観光協会との連携が必要で、補助金を出してプランニングしている。

環境分野では、将来的な「ゴミ処理」体制の構築が重要な課題。RDF施設の問題で検討している。

三重ブランド

自転車の安全指導は

答 各学校で安全計画を策定

前川 勝 議員

問

神戸において、「息子の自転車事故の賠償金9500万円」親に賠償責任があるとして、高額賠償が命じられた。

町長は、町民の安心・安全を守らなければならない立場である。また、自転車の町で活性化を考えられているが、自転車の安全をどのように考えるか。

答

(町長)

三重ライフイノベーション特区の指定を受け、自転車の町づくりを通じ町民の健康づくりを目指している。町として、自転車の町づくりスタッフにより道路交通法にはないが乗る技術指導を行っている。安心・安全は

自身で気を付け守ってもらいたい。

問

小中学校の自転車の安全指導はどのようにしているのか。

答

(教育課長)

国の決まりに基づき、自転車の点検整備・正しい乗り方・ヘルメットの着用等を指導している。

各学校で、安全計画を策定し教育を行っており、指導は年2、3回低学年高学年に分け、県警・トマトースで主に規則を、町づくりスタッフで技術指導を行っている。

問

自転車保険の必要性を感じることがあるか。

答

(教育課長)

保険は、小中学校とも新入学時に、総合保険・自転車保険への加入の案内がされている。また、学校により別途任意保険の配布もされている。



安全教室

借金を減らす考えは

答 借入額を返済額より抑える

問

国の借金1,000兆円突破、県は1兆円を超え、当町は137億円で、国県町を合わせると1人当たり951万円と莫大な金額である。

当町借金は、過去数年間一定額(137億円程)で推移しているが、減らしていく必要があると考えるがどうか。

答

(町長)

大きな事業を行う時、また町民生活の向上を図るため町の活力を出す時等の町政運営上で借金が必要になる。しかし、出来るだけ借金を少なくするよう考える。

答

(総務課長)

事業の財源に国県の補助金や、基金繰り入れを活用し、借金をしないように考える。

毎年の借入額を、返済額より少なく抑える。

町内の小中学校の学力・学習状況の全国的なレベルは

答 各校の取り組みの成果があらわれてきている。

中西 眞喜子 議員

問 人づくりのために重要な位置を占めるのが教育である。

今年4月に国が行った調査の結果はどうであったのか。その結果について教育長としての見解を伺いたい。

答 (教育長)

4月24日実施の調査は、小学校6年と中学校3年を対象とした4年ぶりの悉皆調査であり、国語と算数、数学の学力と、生活習慣や学習環境に関するものである。

町内の小学6年と中学3年の子ども達の学力は、平均正答率では全国平均レベルの前後1から4ポイントの中にあり、概ね

理解できているが、小学6年では活用に関するB問題に課題があり、中学3年では、国語数学共に上回っていた。学習

状況で、国や県に比べ気になるのは、家庭学習の時間が短い、テレビやゲームの時間が長い、家の手伝いが少ないなどである。よい傾向として、自分にはよいところがあると思う、学校に行くのが楽しい、図書館によく行く、地域の行事に参加していると答えた子が多いこと。もうひとつの学力調査、CRT調査では、町内すべての小



みんな仲良く学習中(相可小)

学2年から中学2年までの国語と算数、数学などを対象に実施し、3年目を迎える。結果を平均正答率で見ると、小中学校ともに全国平均を上回る学年が前年度より増加している。各校の取り組みの成果が表れてきている。教育長としての見解は、全学年を通してみると向上しているのと捉えているが、全国と比べると更なる努力が必要で、今

後も全国調査と併せCRTやQ-U調査を継続し、町の学力向上推進委員会をてこに、努力していきたい。更には学校の取り組みだけでは不十分で、保護者や地域の皆さんと共に取り組む必要があると考える。現在三重県では、学力向上県民運動を展開している。

◎Q-U調査

学校で実施できる、標準化された心理テストのひとつ。小学校から中学校・高校生向けまで4種類。

◎CRT

「基礎的・基本的な内容」の定着状況を適切に把握できるように作成された検査で児童・生徒一人ひとり、学年、学校、地域として基礎学力の定着状況を十分な合理性と客観性をもって把握できるように作成。

「太陽光発電システム等補助金要綱」で シャープ製品に限るとの規程は法治主義の 原則から問題ではないか

答 要綱をシャープ製品のための限定としたが、主旨について大きなズレはない

中野 正宣 議員

問

町の太陽光発電システム等設置補助金交付要綱の改訂が本年三月にあった。この目的は地球温暖化対策の一環としてクリーンエネルギー利用を積極的に支援し、環境への負担の少ない循環型社会の形成を計るため補助金を交付するとあり、第3条では「シャープ製品に限る」としている。これは町民の平等、そして、申請者の権利行使を妨げており別途要綱を設定するべきと考えるが、また本年の太陽光発電への申請の件数、金額の執行状況はどうか。

答

(町長)

本要綱は地球温暖化防止対策の一環として、クリーンエネルギー

ギーを積極的に活用するのが目的であるが、町税収の3分の1を賄う企業であり企業が存続するかの時である、その企業を応援するのは当然であると思っている。ただこの要綱は永久的なものではない。本年度前期の申請件数は15件471万円、現在後期分を募集中である。

答

(商工環境担当参事)

シャープ製品であっても他の製品でも環境性能は変わらない、予算の範囲ではお断りのケースもある、シャープに限定することで支援と環境貢献の2つの効果を出している要綱がおかしいとは思わない。

櫛田川河川敷の古江須原親水公園を 利用禁止にするのか

答 公園の管理、ごみ問題を含め利用方法等について古江区と十分協議し現状利用を考えている。

問

町には多くの公園があり、たくさんの方々が利用し喜ばれている。町長のブログによると、「一部の心ない人たちのため、古江の須原親水公園の利用ができないようにするかどうかの検討を進めている」との書き込みである、この須原親水公園は、櫛田川流域において流域最高の交流拠点であり、今後も多くの方々に利用していただくためには、管理している町の責務がまだあると思う。

答

(建設課長)

有効に利用できる方法を考えるべきと思うがどうか

古江須原公園は櫛田川流域で遊べるところが少なく、この公園への利用者は大変増えている、増えるに伴い利用者のマナー、ごみ等の環境問題が多く発生しており、管理に苦慮している、今後の利用方法については、櫛田川河川保全区域や大雨時の遊水地としての役割もあり古江区と十分協議をして対応を考えていく。

【その他の質問】

◎ごみゼロ運動について



にぎわう須原親水公園

RDF広域連合から平成27年度脱退の松阪市との話し合いは、どうなっているのか

答 現在、脱退に伴う負担金などについて事務レベルで協議中

東山 義美 議員

問

平成27年度よりRDF広域連合から脱退の松阪市と多気町、大台町、大紀町3町間での脱退に伴う負担金の協議が難航する中、3月定例会後の全員協議会での報告では「今後は事務局サイドで話し合いを進める。」とのことであった。現在借入金、経常経費、最終処分場経費そして財産問題、職員問題などの協議がなされていると聞くが、それらの途中経過を伺いたい。

また町民に対してもそれを知らせるべきではないか。

答

(町長)

松阪市の脱退に伴う負担額の協議については、4月以降、

課長級、松阪市の場合は部長級出席で、この問題に関しての会議を4回開き問題解決を進めており、年内には見通しがつくと思っている。

これらは松阪市脱退後の3町への経費が脱退により増えることがないように、その分を全額松阪市で負担願う協議を進めているものである。

その中で、外部機関である三重県RDF運営協議会の脱退負担金の協議が難航している。

以上の他にも事業量の減に伴う職員の問題、財産問題もあるが、それらの協議が今後残る。



どう終息させる 香肌奥伊勢資源化プラザゴミ処理場

問

現在稼働の資源化プラザは、平成32年度までの稼働となっているが、ごみ処理については継続した対策が必要であり、次期施設等の検討が急務である。そのためには処理委託案も含めいくつかの手法の検討がなされるわけであるが、候補地となる土地問題が大きい。インター付近の前村地区には以前にも土地利用が議論された広い土地がある。これらの土地利用を含めた

答

(町長)

平成33年度以後のごみ処理施設対策については、現在検討を進めているが、最終的な整理は出来ていない。年末までにはなんとか整理して議会に諮りたい。インター付近の山の利用については、町の活性化に向けた土地利用を模索している。

判断を広域連合長でもある町長に伺いたい。

酷暑が続く夏、小・中学校の快適な学習環境を目指した暑さ対策は

答 現状をさらに改善していく必要がある。

吉田 勝 議員

問

今年の夏の暑さは、猛暑、酷暑という耐え難いものだった。気象も昔と比べるとずいぶんと変化してきたと言われているが、それに対処して一般家庭、公共施設、そして公共交通機関、マイカー等においてはエアコンが整備されている。

このような

中、児童生徒の健康への配慮として快適に学習する環境を考えると、文科省での基準は30度以下が適切であると考えられている教室の温



教室の暑さ対策

答

(教育課長)

度の実態はどうか。そして現在の社会では何らぜいたくではないエアコンの整備の検討はしているのか、また何か課題があるのか。

この夏、7月上旬の佐奈小で35・5度、勢和中で34・2度を計測した。

現在の暑さ対策としては、扇風機、スポットクーラー、ウォータークーラー、よしずなどである。

答

(教育長)

子供が長くエアコンの中にいることで、汗腺の発達が十分でない

防災行政無線「いざ!」というとき全家庭への確に情報が届くのか、その調査は

答 再度調査も行い、防災情報の的確な伝達に努める。

問

防災行政無線については、防災上の緊急性から、合併後いち早く周波数を一にし、その後デジタル化を行い、屋外拡声器での伝達を基本として整備された。いざ!という時、その役割には大きなものがある。それだけに日頃の点検及び調査が大切であるが、町内5千戸余りの家庭に「いざ!」という時の情報が的確に届くのか、その調査結果はどうなっているのか

答

(総務税務課長)

町が管理する屋外拡声器

い子や、低体温の子が増えていること、また外と中での温度差で子供の自律神経機能に影響はないかとの心配もあるが、9月の教育委員会では、その必要性、

適正な使用規定、大きな財政負担等の意見が出される中、「現状をさらに改善していく必要がある。」との意見で一致している。

は勢和地域へ28基、多気地域へ46基整備した。補完する屋内戸別受信機については、一次避難所、二次避難所に設置した。その点検については、業者に委託して年2回実施している。各家庭に情報が届くのかの調査については、追加工事後は行なっていないので、再度調査したい。



屋外防災行政無線子局

町長選と町議選を同時に区長会からの要望について

答 行政として議員任期について意見を述べる立場ではない

中西 敏雄 議員

問

議会選挙を6か月間繰り上げて町長選と同時にして、経費削減をとの区長会からの要望について、町長としての考えを伺いたい。また議員報酬19万円は、高いと思うか。

議員の解散要件には、一つが自主解散、二つ目が住民からの直接請求、三つ目が首長による解散の3手法があり、議会が問題なく正常に機能している場合は、法適用に無理があると思うが、総務課として、議会に出される前に、区長会に説明をしなければならなかったのでは。

答

(総務課長)

行政として、議員任期については意見を述べる立場ではない

答

(町長)

い。区長会では、出た意見を基に話し合っていた。総務課として、3パターンあるのは分かっていたが、自主解散する場合は出たのではないかと考えていた。町の説明不足もあったと思う。

議員報酬の件について、町長としては、私個人として言わせていただくと、自分も議員活動をした中で、19万円の議員報酬は安いと思っていた。県下でもたぶん後ろから数えて2番目ではないか。若い人では、よほどの志のある人以外、立候補されなと思う。年金なり、他の報酬がない限り活動は出来ないのでは。

次回定例会の予定

開催日時

平成25年 第4回定例会 12月17日(火)午前9時から
庁舎2階 本会議場で行います。皆様、傍聴にお越し下さい。

一日目の町長提案理由説明と、一般質問は多気町行政チャンネルで生放送します。
一般質問は後日録画放送します。録画放送日時等は決まり次第、行政チャンネルでお知らせします。

議会のうごき

●9月 September

- 2日 松阪地区広域衛生組合議会
- 2日 松阪地区広域消防組合議会
- 8日 多気町防災訓練
- 10日 議会運営委員会
- 17~27日 第3回議会定例会
- 30日 松阪地区広域衛生組合例月検査

●10月 October

- 1日 多気町松阪市学校組合議会
- 3日 松阪飯多農業共済事務組合議会
- 8日 香肌奥伊勢資源化広域連合議会
- 9日 議会研修(正副の議長と正副の議会運営委員長)
- 11日 例月出納検査(多気町)
- 12日 多気町敬老会
- 15日 議長会
- 16日 議会広報特別委員会
- 31日 松阪地区広域衛生組合例月検査

故 寺村龍介多気町議会議員への追悼のことば



去る九月三十日にご逝去されました、元多気町議会議長そして前香肌奥伊勢資源化連合組合議会議長でありました寺村龍介議員を忍び追悼の言葉を申し上げます。

去る九月二十九日議会報告とお見舞いを兼ね自宅に伺いました。病気とは思えないほど気丈で、議会のことと多気町のことを熱く語ってみえた寺村さんでした。翌三十日の早朝、訃報の知らせを受けた時には我が耳を疑いました。誠に残念で痛恨の極みであります、謹んで哀悼の意を表しご家族の方々に心よりお悔やみ申し上げます。

寺村龍介議員は合併前の勢和村議会に昭和五十八年より連続九回当選され以来三十年間にわたり勢和村また新多気町のため尽力され、議長を四回、そして、県議町会副会長を歴任されました。その間全国町村長議長会長表彰二回・県議長会長表彰を三回受賞され、また、新多気町の議長在任中に議員定数削減改革も果たされ、

混乱をしている香肌奥伊勢資源化広域連合議会も議長在任時はその手腕を発揮していただきました。

町村合併の時には勢和村議会議長として、全ての協議項目を熟知され、協議会の新町建設計画策定委員会委員長として新多気町誕生の産婆役を果たしていただき、正義感に燃えた方で優れた見識と円熟した人格、そして、私利私欲がなく町民の代弁者として惜しまず活動されていたことは町民の認めるところであり自治功労の第一人者で私達議員の鑑でありました。

一方では、野球・ゴルフにも長けた方でプレイ中の嬉しそうな笑顔は忘れられません。また、趣味の狩猟も猪・鹿・猿が出没、農作物被害が発生し農家が困っているとき

には、多気町猟友会員として強力な助っ人でもありました。

そして、地元では太平洋戦争末期の弓部山への墜落機の犠牲者の御遺族探し、鎮魂碑の建設、油田公園を含む地域の活性化も取り組まれ、多年にわたり地方自治の発展と社会公共の為に尽くされた功績は不滅のものであり後世まで伝えられることと信じてやみません、寺村龍介議員のご冥福を心からお祈り申し上げます。最後に寺村さんから常に言われていた、議員は「勉強せよ、議員必携を熟読せよ」の遺言は肝に銘じていきます。

寺村さんありがとうございました、ご苦労様でした。これからもご遺族・多気町議会を見守ってください最後に安らかにお休みください。

平成二十五年十月三日

多気町議会議員

中野 正宣



たきの風

▼九月末、我が町内は「国際色」に彩られた。国の歴史・文化が異なる6か国の若人たちが、料理という特殊なジャンルを通じ、自分の「腕」を信じて競い合った。「高校生国際料理コンクール」イベントの一シーンである。

▼同じ頃、もう一つのイベントが初めて開催された。〃学生の学生による学生のための祭典〃と称し北海道から沖縄まで全国12の高校が参加し「全国高校生スクールS〃セレクション」と銘打った交流会である。参加各校の取り組みや開発商品などの展示即売を行い、交流しながら、審査員から完成度の評価を受けるという。

▼二つのイベントの成績はともあれ若い人たちが自分たちの夢・未来を集いの中で見つけて、社会人となっていくことに、大きな期待をしたい。がんばれ学生諸君！

(K・N)

平成25年8月12日発行の議会だより第30号の記事中、誤字がありました。

15ページ「たきの風」6行目の(誤)「駱蕩」は(正)「台頭」でした。

また、15P給食センター記事(誤)「トイレ洗淨」は(正)「トレー洗淨」でした。

お詫びして訂正申し上げます。

(議会 広報委員)

お詫びと訂正

多気のまちかどから

Vol.8

伊勢一刀彫の根付細工と

墓（ひきがえる）彫刻技術を次代に

伝承する四代目の匠



【射和正直四代目】
奥田 眞一さん
(多気町河田)



最新作2組の夫婦墓

◆彫刻に取り組みきっかけは

☆平成8年4月、津田公民館事業の多気町彫塑クラブに加入し「墓」の彫刻の指導を受けた時が最初です。

◆伊勢一刀彫「射和（系）正直」の技術伝承の経緯を少し説明してください。

☆「射和三代目」の樋口輝夫先生に師事し「墓彫刻」の指導を受けていました。余談ですが、昔から墓（ひきがえる）（蛙）は金運、家運の隆昌を招く（縁起事を曳く）トヒキと云われ、人々に喜ばれていました。特に商売をしている家では珍重されていました。

ほどなく樋口先生が他界され、後任の講師先生を探すことになりましたが、しばらくその話が途絶えていた中で、私に正直の名跡を継いではとの話をもらいましたが、「墓」は得意中の得意と言われる長岡正昭先生の指導を受けることになりました。

長岡先生には「伊勢根付細工」の指導も併せて習いました。私が根付への取り組みを始めた一歩でもあります。



伝統工芸の根付細工

平成21年10月、射和正直が三代で断絶することになった話が出た樋口三代目夫人の推薦と承諾を得て、これまでの技術伝承の経歴から、私が四代目正直の銘を継承することになりました。

◆「墓」の製作工程について、概略を教えてください。

☆材料は、楠木、黒檀が主で、桜、ローズ紫檀、縞黒檀、樺、柘植そして長年地中に埋もれて堅くなった「埋もれ木」などを使います。

まず木取りですが、木材の直径に対して「墓」を何匹重なるか、墓の姿により必要な高さを決めます。次に、下絵／粗彫り／仕上げ行程／眼部の彫刻／磨きへと進み、最終行程は色上げです。色は漢方薬の阿仙や夜叉などで着色し、生油で仕上げます。仕上がった作品を眺めている時間が私の一番充実した至福の時です。

◆今、多気彫刻会（名称変更）は何人の会員ですか。

☆現在は21名の会員で、製作活動は「根付」は全員が行い、「墓」など一般に大きい彫り物を作る一般教室は会員は12人です。

伝統工芸の伝承については、最近国・県あるいは民間（岡田財団）も力を入れ始め、団体に対し助成金を出すようになってきています。多気町彫刻会も3度助成を受けたことがあります。今後

も伝統を守っていく責任を感じます。（取材で製作教室の津田



多気彫刻会の皆さん

◆伊勢地方には、「伊勢根付」「伊勢玩具」など色々な伝統工芸品がたくさんありますが、そのような背景があったのでしょうか。

☆（奥田）伊勢は、江戸時代の「おかげまいり」に代表されるように、全国から伊勢神宮にお参りする人たちのお土産として売られてきたと思います。根付は和服の帯にキセルや印籠などを通して持ち歩く旅に出た人の必需品であり、墓蛙は「無事蛙（帰る）」に引掛けた旅のお守りであったのだと思います。

公民館を訪れると、中からはカンカンと槌と鑿を振るう音やガ／ガ／と電気ノコギリで粗彫りをする音、コツコツと細かい細工をする人達が一生涯懸命に無言で製作していました。

奥田先生の指導を受けている人に製作の感想を聞いてみました。「☆何回作っても同じ顔の墓はできません。県内外に行つて墓作品を見て勉強しているけれど難しい。」

☆（女性の会員さんは）まだキャリアは浅いけど父親が伊勢で習っていた関係で興味をもっていた。以前から触つてみたかった。根付も一緒に習っています。